

No.284
2018
4/20



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



東労組第35回臨時大会開催 No.6

4月12日、第35回臨時大会が開催され、12名の中央執行委員に対する制裁審査委員会設置について審議を行いました。

■制裁審査委員会の設置について

●制裁申請者：東日本旅客鉄道労働組合中央執行委員会

○制裁対象者：中央執行委員12名 串田 弘史、渡辺 博人、大塚 信一、宮内 政典、成田 大樹、
矢島 敏幸、中西 忍、森 雅雄、深石 和則、大谷 朋彦、阿部 憲英、森 優

▽質疑

水戸（反対意見）

本部中執12名の制裁について形式的にも内容的にも認められない。その理由と根拠について4点述べる。

1点目に第13回臨時中執の成立要件に定数の改ざんがあった。4月10日に開催された臨時中執では29/29名で成立確認がされているが、本来29/31名で確認されなければならない。そもそも理由が“執行権停止で欠席”という事で定数から除くと定義されていること事態、規約に則っていない。中央執行委員会の運営それ自体がデタラメである。

2点目に規約39条違反。今回の臨大開催を巡って二つの解釈があると言うが、もう一つの39条違反に対する弁護士見解が明らかにされていない。つまり規約に則っていないから、臨時大会開催ができないという事であって39条違反を認識している事の逆証明と言える。だから12名の中央執行委員は規約を遵守する立場から「39条違反の臨時大会に出席できない」と主張して退席したのである。そもそも「規約違反が問題」にも関わらず『執行権の放棄、第35回臨時大会の破壊で制裁』ではあまりにも感情的で規約を無視した組織運営と言わざるを得ない。

3点目に12名の中執は制止したにもかかわらず退席とある。しかし会場内では「座れ、何で出ていくの、制裁になりますよ」など言われていたが、退出後に戻るよう指導したり電話する事もなく、制裁申請が中執で確認されている。つまり制裁申請前に新たに注意、指導、警告がないまま即座に制裁という事は、後先考えずに制裁ありきで行った制裁という事になる。更にこのような制裁によって大会も中執も成立しない事に繋がっていくという事態になる事を理解されていない。JR東労組の機関運営の破壊であり、この責任は重大な問題である事からこの制裁を止めるべきである。

4点目に制裁指令、そして専従解除との通告について具体的に紹介する。渡辺・森雅・深石・宮内中執は着信一回のみで連絡すら伝わっていない。串田・阿部・成田中執は着信一回、留守電のみ、大谷中執に至っては連絡すら無かった現状。これが今回の制裁の内容だとすれば、伝わりきれていない実態からも認められるものではない。更に専従解除については吉川委員長含めた13名に対して一切連絡が無い。極めて不条理かつ無責任な制裁である事を訴える。いま述べた4点について規約違反、異常な制裁の在り方、そして配慮含めた独善的な組織運営と、組合民主主義の否定である事から認められるものではない。そもそもが39条違反であり、無効である臨時大会開催こそ組合員に対する最大の背信行為だ。12名の真っ当な主張に何一つ問題はなく、今回の制裁は形式的にも内容的にも認められない事を申し述べ、反対の発言とする。

盛岡（賛成意見）

3月1日に東北3地本の声明を発して以降、臨時大会の開催を一つの望みにしてきた。3月9日に109名の署名で臨時大会の開催要求を行い、3月23日組織の最高責任者である吉川委員長名で第35回臨時大会の招集指令、補充選挙の実施が発せられ3月28日に補充選挙結果が示された。そして私たちは招集指令に基づいて参加する準備を行ってきた。これらは全中央執行委員で一致して進めてきたのではないか。第36回定期大会の代議員が4月3日に決まった事は事実だが、臨時大会の補充選挙も継続しており、そこで選出された代議員も全中央執行委員で確認、承認をしたのも事実ではないか。なぜ翌4月6日の臨時中執で初めて規約第39条の話が出てくるのか、強い違和感を持たざるを得ない。また6日の臨時中執で検討を確認、10日の臨時中執で検討結果の報告として改めて臨時大会開催確認したにも関わらず、なぜ退席してしまうのか。臨時大会を開催させない事を目的にしていると思えてならない。組合員の代表として選出された代議員109名の要求と組合員の声を受け止める姿勢ではないと言わざるを得ない。従って中央執行委員としての重責にも関わらず、12名がとった行為は許されるものではなく、制裁委員会の設置に賛成する。

反対96 棄権2 賛成136 無効1 賛成多数で制裁審査委員会設置決定
12名の制裁審査委員会委員

盛岡：大村 秋田：畠山 仙台：菅原 千葉：門山 横浜：梶田 大宮：唐紙
高崎：清水 長野：奥山 本部：氏家副委員長